

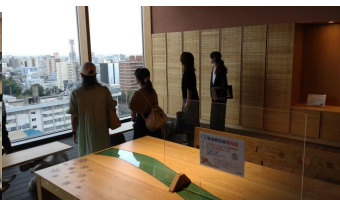
PTA視察研修

本日、PTAによる視察研修を行いました。本校の卒業生が働く職場を訪問し、本人はどのような工夫をして働いているのか、職場ではどのような協力を得て働いているのかなど、職場環境を含め新たな学びの多い研修になりました。本校の保護者にとっては、中学部までにどのような力を身に付ければ良いのかや、中学部を卒業した後に高等聾学校等、高等学校時代にはどのような学びが必要なのかに思いをさせ、我が子の職業選択に向けて必要なキャリア教育の一端を感じることができたと思います。

本日、訪問させていただいたのは、次の2カ所です。御協力をいただきました皆様、卒業生が様々な配慮を受けながら元気に頑張っている様子を見せていただき、感謝の気持ちで一杯になりました。誠にありがとうございました。

旭川市役所

一般の高等学校を卒業して2年目の難聴の方が働いており、チャットを使ってコミュニケーションしているそうです。



旭川赤十字病院

私は、赤十字病院の説明から一緒に聞かせていただきました。左は御自身の経歴を説明してくれている場面です。

旭川聾学校→高等聾学校（小樽）→高等聾学校専攻科→赤十字病院3年目の女性です。職場での日常のコミュニケーションは、パソコンを活用し、チャット（LINEのようなソフト）や音声を文字化するソフト等を活用していると説明がありました。また、依頼の際には電話ではなく全てメールにしてもらうなどすることで対応が可能になったと説明があり、



工夫されていることがわかりました。

印象に残ったのは、高等部時代に学んだことが生かされていると感じているということと、働いてみて実感したのは「もっと日本語力を身に付けなければならない。」という説明があった点です。

高等部時代には、多くの資格を取得することができたようです。その資格がパソコンを使用して働く今の仕事に役立っているとのことでした。やりがいを感じたこととして、2つ挙げていました。

1つ目は、専攻科で学んだことを生かせることが多いということ。電子カルテのケースでは、自分の提案した案が採用されたそうです。2つ目は、日々の業務を通して、自分のスキルが向上していることを感じられていること。「耳が聞こえないことに配慮し、働きやすい環境を作るために協力してもらっているおかげで、安心して働いています。」とのことでした。「作成したホームページに少しでも興味をおもちいただけるとうれしいと思っています。」と話していました。私もホームページで見てみたいと思います。トップ画面なんてすごい！！病院の顔を作っているんですね！！！！



いました。

卒業した先輩方が一生懸命働くことで、本校で学ぶ子どもたちの選択肢の幅が広がっていることを実感して頼もしく思いました。

本日は、大変貴重な機会を作っていただいた旭川市役所の皆様、旭川赤十字病院の皆様にご感謝いたします。

誠にありがとうございました。

説明の後には施設見学をさせていただいたようです。病院には最先端医療が集結しており、ドクターヘリが利用するヘリポートも見せていただいたようです。（残念ながら私は見られませんでした。）

職場の研修自体も充実しているようですし、自身のスキルアップも図れる様に工夫されているようです。

また、医療事務分野では、今後も、必要な人材がいれば採用したいと話されて

